

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ノルウェー	ノルウェーは人口約530万人と、比較対象の国々の中で最小規模ですが、2017年時点の電気自動車の保有台数は約17万6千台に達しています。これを人口一人あたりで換算すると、電気自動車の普及が急速に進んでいる中国や、市場規模の大きいアメリカ・日本を大きく引き離す普及率となります。北欧諸国では環境対策として、電気自動車の購入に対する税制優遇などの強力な政策がとられていることが背景にあります。
問2	答え 3 夏の日差しが強く乾燥する気候を活かして、オリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んである。	地中海性気候の地域では、夏に雨が少ない一方で日差しが非常に強いため、乾燥に強い果樹の栽培が適しています。オリーブやブドウ、オレンジなどは、この気候条件を最大限に活用した農産物であり、地中海沿岸諸国の重要な産業となっています。
問3	答え 3 ヨーロッパ諸国では、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低いエネルギーへの転換を政策的に進めているため。	エネルギー供給の割合の違いは、各国の環境政策の差を反映しています。ドイツをはじめとするヨーロッパ諸国では、地球温暖化対策として「脱炭素」を掲げ、化石燃料から風力や太陽光などの再生可能エネルギーへと供給源を切り替えるエネルギー転換（エネルギー・ヴェンデ）を積極的に進めてきました。これに対し、日本は資源の多くを海外からの輸入に頼っており、安定した電力供給を維持するために、依然として火力発電の燃料となる化石燃料への依存度が高いという課題を抱えています。
問4	答え 1 ドイツ	ヨーロッパ最大の経済大国であるドイツは、工業国として世界でも有数の貿易額を誇ります。EU（ヨーロッパ連合）の中心的な存在であり、その輸出先の多くをヨーロッパ諸国が占めていることが大きな特徴です。特にオランダ、フランス、イタリアといった隣接する国々との経済的な結びつきが非常に強く、域内での自由な貿易を背景に高い輸出額を維持しています。
問5	答え 3 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）は、域内での経済活動を活発にするために市場の統合を進めており、その一環として共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国境を越えた商取引において両替の手間や為替リスクが解消されるというメリットがあります。イギリスのポンドのように、EU加盟国（または旧加盟国）であっても独自の通貨を維持している場合もありますが、共通通貨としてはユーロが正解です。
問6	答え 1 フィンランド・エストニア・ラトビア	バルト海沿岸の国々のうち、フィンランド、エストニア、ラトビア、リトアニアはユーロを導入しています。一方で、同じEU加盟国であってもスウェーデン、デンマーク、ポーランドなどは独自の通貨を使用し続けています。EUに加盟していることと、共通通貨を導入していることは必ずしも一致しない点に注意が必要です。
問7	答え 4 原子力発電	フランスは1970年代の石油危機を契機に、エネルギーの自給率向上を目指してこの発電方法を国策として推進してきました。現在も全発電量の約70パーセントをこの発電方法が担っており、世界的に見ても非常に高い水準にあります。火力発電のように化石燃料を燃やさなため、発電過程における環境負荷の低減という側面も持っています。
問8	答え 1 気温が高く、雨が非常に少ない	地中海性気候は、温帯の中でも「夏季に乾燥する」という珍しい特徴を持っています。夏は亜熱帯高圧帯の影響下に入るため、気温が高いうえに雨がほとんど降らず、強い日ざしが続く日照りつけます。窓を小さくする工夫は、この強い日差しと熱を遮るための、現地の気候に最適化された合理的な設計です。
問9	答え 1 高度な工業技術を持つ先進国であると同時に、広大な平原を活用して高い穀物自給率を維持する農業大国としての側面も持つ。	フランスはヨーロッパ最大の農業国として知られ、混合農業や地中海式農業が盛んです。先進工業国として高い経済水準（一人あたりの国民総所得）を誇りながら、小麦などの穀物自給率が176%（2011年～2016年統計）に達するという、他の先進国にはあまり見られない「工業と農業の高度な両立」が大きな特徴です。
問10	答え 3 寒さに強い針葉樹を中心とした森林が広がっている	タイガは冬の寒さが厳しい環境に適応した、マツやモミなどの針葉樹林によって形成される。乾燥した草原は「ステップ」、コケ類が生えるのは「ツンドラ」、広葉樹と針葉樹が混在するのは「混合林」の特徴である。
問11	答え 4 大西洋を流れる暖流の北大西洋海流の上を、偏西風が吹いて温かい空気を運んでくるため。	パリのようなヨーロッパ西部の地域は、北緯50度付近という高緯度にありながら、西岸海洋性気候に属しています。これは、付近を流れる暖流（北大西洋海流）の影響を受けた温かい空気が、偏西風（西から吹く恒常風）によって大陸へと運ばれてくるため、同緯度のアジアや北米大陸の東岸に比べて冬が温暖になります。
問12	答え 4 暖流である北大西洋海流の影響を受けた温かい空気が、偏西風によって大陸西岸に運ばれるため	ロンドンが属する西岸海洋性気候の大きな特徴は、高緯度のわりに冬が温暖であることです。これは、北極側へ流れる暖流の北大西洋海流が海水を温め、その上の温かく湿った空気が偏西風（一年中西から吹く風）によってヨーロッパ大陸の西岸へと運ばれてくるためです。対して、大陸東岸にある札幌などは冬に大陸からの冷たい季節風の影響を強く受けるため、ロンドンよりも低緯度であっても気温が低くなります。
問13	答え 1 暖流である北大西洋海流の上空を通過した偏西風が、湿った暖かい空気を大陸へ運んでくるため	ヨーロッパの西側は、高緯度に位置しながらも暖流である北大西洋海流の影響を強く受けています。この暖かい海流の上を通る偏西風が、大陸に向かって熱と水蒸気を運ぶため、内陸部に比べて冬の気温が下がりにくくなります。このような気候条件は西岸海洋性気候と呼ばれ、人間が居住しやすい環境を形成しています。